

パーソナル オーディオシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



MD Link Plus

ZS-D7

⚠️ 警告

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4~7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠️ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠️ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く

目次

△警告・△注意	4
---------------	---

ここだけ読んでも使えます

CDを聞く	8
ラジオを聞く	10
テープを聞く	12
録音する	14

CD

表示窓の見かた	16
聞きたい曲を選ぶ （ダイレクト選曲/サーチ）	17
繰り返し聞く（リピート演奏）	18
1曲だけ聞く（1曲演奏）	19
順不同に聞く（シャッフル演奏）	20
聞きたい曲を好きな順に聞く （プログラム演奏）	21

ラジオ

放送局を記憶させる	23
記憶させた放送局を聞く	25

テープ

曲の頭出しをする	26
CDを編集録音する	27

録音についてのご注意

- ・ 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ・ パーソナルオーディオシステムの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- ・ あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

タイマー

時計を合わせる	33
音楽で目覚める	34
音楽を聞きながら眠る	36
留守中にラジオを録音する	37

接続と準備

接続する	39
ポータブルMDレコーダーをつないで使う	42
その他の機器をつないで使う	45
好みの音質で聞く	47

その他

使用上のご注意	48
故障かな？と思ったら	49
お手入れ	52
保証書とアフターサービス	53
主な仕様	54
用語集	55
各部のなまえ	56
索引	裏表紙

! 警告



火災



感電

下記の注意事項を守らないと火災・
感電により死亡や大けがの原因
となります。

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。



湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



海外では使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れない

感電の原因となります。



ガス管にアース線やアンテナをつながない

火災や爆発の原因となります。

⚠ 注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



ぬれた手で電源プラグをさわらない

感電の原因となることがあります。

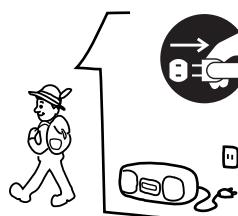


移動させるとき、長時間使わないときは、

電源プラグを抜く

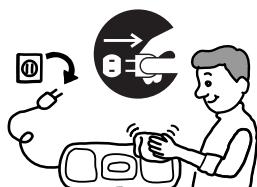
電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

長期間の外出、旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。



お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度もじゅうぶんに確認してください。



⚠ 注意

つづき

通風孔をふさがない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



幼児の手の届かない場所に置く

カセットぶたなどに手をはされ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



CD(円形ディスク)以外は使用しない

円形以外の特殊な形状(星型、ハート型など)をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 警告

- ・ 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- ・ 乾電池は充電しない。
- ・ 指定された種類の電池を使用する。

⚠ 注意

- ・ +と - の向きを正しく入れる。
- ・ 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- ・ 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

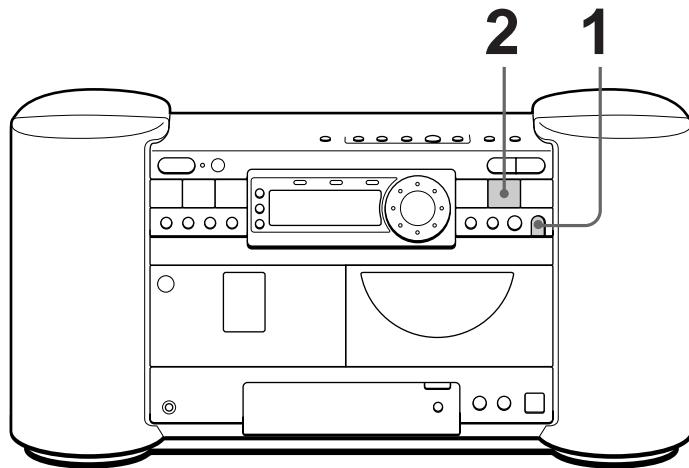
もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

この取扱説明書について

本書では、本体での操作を中心に説明しています。リモコンでの操作のしかたは、本体と違う場合に明記してあります。

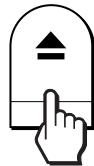
「各部のなまえ」(56~59ページ)も併せてご覧ください。

CDを聞く



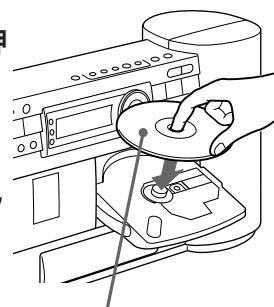
接続と準備→「接続する」(39、40ページ)をご覧ください。

1 OPEN/CLOSE



▲OPEN/CLOSEボタンを押して、CDを入れる。

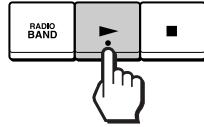
ボタンを押すと自動的に電源が入り、CDトレイが出てきます。
カチッと音がするまでCDをはめこんでください。



文字のある面を上に

2

►ボタンを押す。



CDトレイが閉まり、再生が始まります。

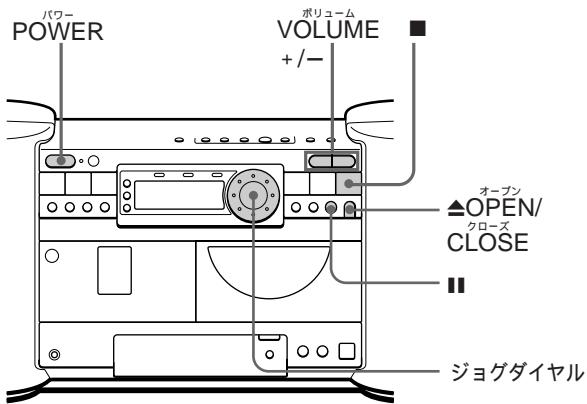
本体表示窓



曲番 演奏経過時間

ここだけ
読んでも
使えます

その他の操作



ちょっと一言

- CDを入れると「TOC READING...」が点灯し、CDの曲数や時間情報を読み込みます。
- 一度CDを入れておけば、次にCDを聞くときは▶ボタンを押すだけで電源が入り、演奏を始めることができます。

こんなときは

押すボタン / 操作

音量を調節する

ボリューム VOLUME +/− (音量 +/−)

再生を止める

■

再生中に一時停止する

II

もう一度押すと演奏が始まる。

曲の頭に戻す

ジョグダイヤルを左へ回す。
(◀◀を押す)

次の曲へ進む

ジョグダイヤルを右へ回す。
(▶▶を押す)

CDを取り出す

△OPEN/CLOSE (オープン クローズ)

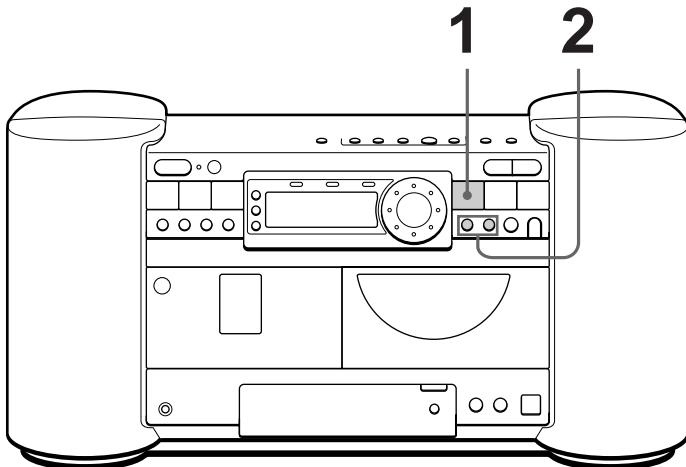
電源を入/切する

POWER (電源)

()内はリモコンのボタンです。

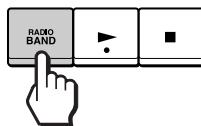
ここだけ
読んでも
使えます

ラジオを聞く



接続と準備→「接続する」(39、40ページ)をご覧ください。

1



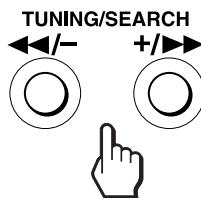
バンド
**BANDボタンを押して、FM
(TV1-3ch) かAMを選ぶ。
(リモコンではバンドボタンを
押す。)**

本体表示窓



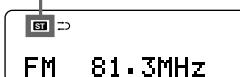
ボタンを押すと自動的に電源が入り、
「FM」か「AM」が出ます。切り換えるときは、もう一度押します。

2



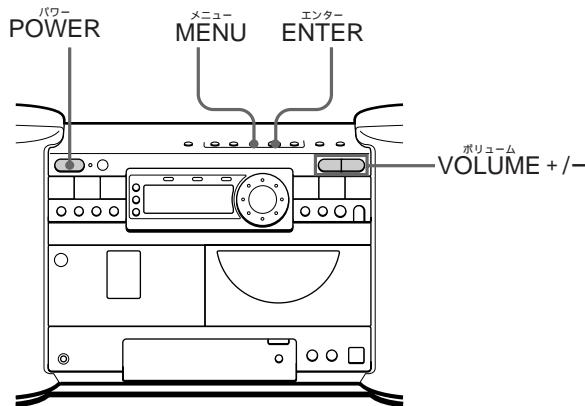
チューニング サーチ
**TUNING/SEARCH +/▶
または◀/- ボタンを押した
ままにし、数字が動き始めた
ら指を離す。
(リモコンでは選局+または-
ボタンを押したままにする。)**

FMステレオ放送のとき
出る



放送局を自動的に受信して止まります。受信できなかったときは、TUNING/SEARCH+/▶または◀/-ボタンを繰り返し押して、聞きたい局の周波数に合わせます。

その他の操作



ちょっと一言

- FMステレオ放送の雑音が多いときは：
リモコンでは：
モードボタンを押して
「MONO」を表示させます。
- 本体では：

1 MENUボタンを押します。



- 2 ジョグダイヤルをまわして
「MONO」を点滅させ、
ENTERボタンを押します。
音はモノラルになります。
- 一度放送局を受信すれば、
次にラジオを聞くときは
BANDボタンを押すだけで
電源が入り、ラジオを聞く
ことができます。

こんなときは

押すボタン

音量を調節する

VOLUME +/- (音量 + / -)

電源を入/切する

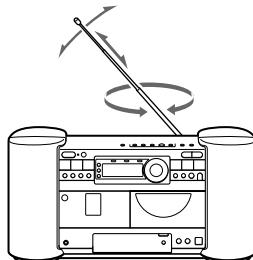
POWER (電源)

()内はリモコンのボタンです。

受信状態をよくする

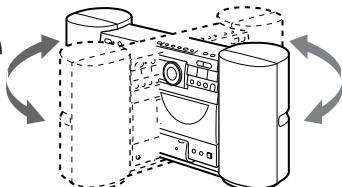
FM (TV1 - 3ch) 放送のとき
アンテナを伸ばし、向きを変える。

それでも受信状態がよくならない場合は、FM専用屋外アンテナを接続してください
(41ページ参照)。

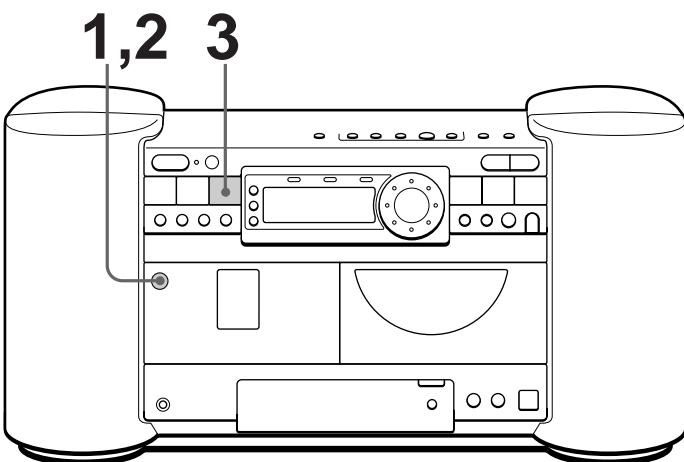


AM放送のとき

本体を最も受信状態の良い方向へ向ける。

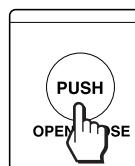


テープを聞く

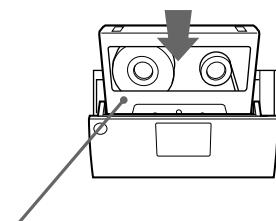


接続と準備→「接続する」(39、40ページ)をご覧ください。

1

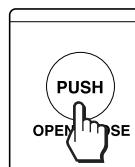


プッシュ オープン クローズ
PUSH•OPEN/CLOSEを押
してカセットぶたを開け、カ
セットを入れる。



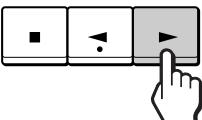
聞きたい面を手前に

2



プッシュ オープン クローズ
PUSH•OPEN/CLOSEを押
してカセットぶたを閉める。

3



▶ボタンを押す。
(リモコンではテープの▶ボ
タンを押す。)

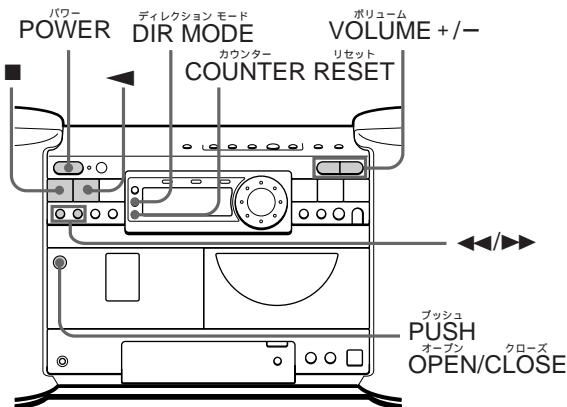
自動的に電源が入り、再生が始まり
ます。

本体表示窓



テープカウンターが出る

その他の操作



ちょっと一言

- ・テープカウンターは COUNTER RESETボタンを押すと、000に戻ります。あとから頭出しするのに便利です。
- ・一度テープを入れておけば、次にテープを聞くときは▶または◀ボタンを押すだけで電源が入り、聞くことができます。
- ・TYPEI(ノーマル)、
TYPEII(ハイポジション)、
TYPEIV(メタル)のどのテープも再生に使えます。

こんなときは

押すボタン

音量を調節する

VOLUME +/- (音量 + / -)

再生を止める

■

反対面を再生する

◀

早送りや早戻しをする

◀◀または▶▶

カセットを取り出す

PUSH・OPEN/CLOSE

電源を入/切する

POWER(電源)

()内はリモコンのボタンです。

再生する面(片面か両面)を選ぶには

DIR MODEボタンを押すたびに、下のように切り換わります。

表示窓

片面だけを聞く

↔

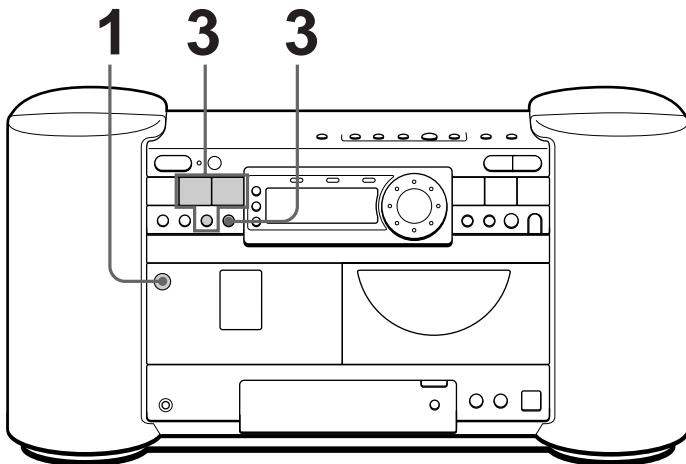
両面を聞く

↔↔

両面を繰り返して聞く

↔↔↔

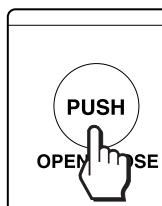
録音する



接続と準備→「接続する」(39、40ページ)をご覧ください。

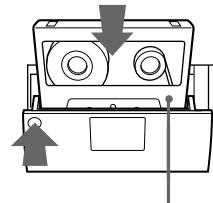
MDなどへの録音→まず接続してください(42ページ)。

1



プッシュ オープン クローズ
PUSH•OPEN/CLOSEを押してカセットぶたを開け、録音用カセットを入れる。

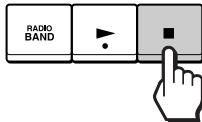
TYPE I(ノーマル)テープをお使いください。
閉めるときもPUSH•OPEN/CLOSEを押します。



録音を始める面を手前に

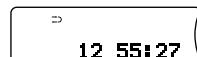
2

録音するものを選ぶ。

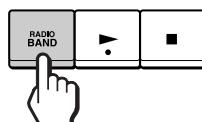


CDを録音するとき
CDを入れる(8ページ参照)
■ボタンを押して、CDを録音できる状態にする。

本体表示窓



12 55:27



ラジオを録音するとき
録音する局を受信する(10ページ参照)



FM 81.3MHz

3

DUB START CD→TAPE



録音を始める。

CDをまるごと録音するとき(ワンタッチダビング)
ダビングスタートシーディー テープ
DUB START CD TAPEボタンを押す。

CD + TAPE
01 00:02

CDを録音するとき表示窓に「」が出ていている場合、曲の途中でテープの上面が終わると、反対面は自動的にその曲の頭から録音します。

ラジオを録音するとき(CDもこの方法で録音できます。テープが回ってからCDを再生します。)

●/IIボタンを押したあと、▶または◀ボタンを押す。録音が始まります。

(リモコンの場合は、●/IIボタンを押しながらテープの▶または◀ボタンを押す。

ご注意

本体では、●/IIボタンを押してから8秒以上たつと、録音が始まられません。もう一度やり直してください。

ここだけ
読み
でも
使え
ます

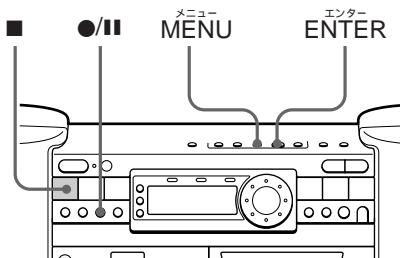
FM 81.3MHz

FM 81.3MHz

ちょっと一言

- ・録音中、音量や音質を変えても録音される音は変わりません。
- ・表示窓に「」が出ていると、テープの両面に録音されます。片面だけに録音するときは、DIR MODEボタンを押して「」を出します。
- ・AM放送を録音するとき、手順3の●/IIボタンを押したあと、ピーという雑音が出た場合は：リモコンのモードボタンをくり返し押して、「ISS-1」「ISS-2」「ISS-3」のうち、雑音が最小になるところを選びます。
- ・本体のMENUで「ISS」を選んでも設定できます。

その他の操作



こんなときは 押すボタン

録音を止める ■

録音を一時停止する ●/II
(ワンタッチダビング時)
もう一度押すと録音が始まります。

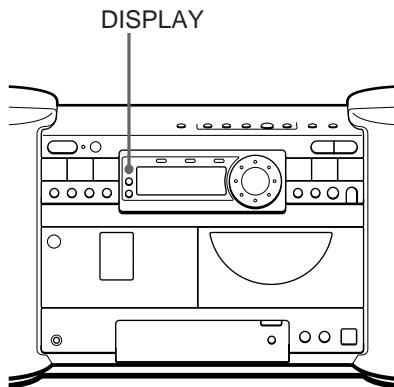
録音した音を消去するには

- 1 デッキに音を消したいカセットを入れ、■ボタンを押す。
- 2 本体では、●/IIボタンを押したあと、▶ボタンを押す。リモコンでは、●/IIボタンを押しながら、▶ボタンを押す。

ここだけ
読み
でも
使え
ます

表示窓の見かた

表示窓で、CDの全曲数や全演奏時間、残りの曲数、残り時間などを調べることができます。



全曲数と全演奏時間を調べるには

停止中、DISPLAYボタンを押す。



残り時間を調べるには

演奏中、DISPLAYボタンを押す。

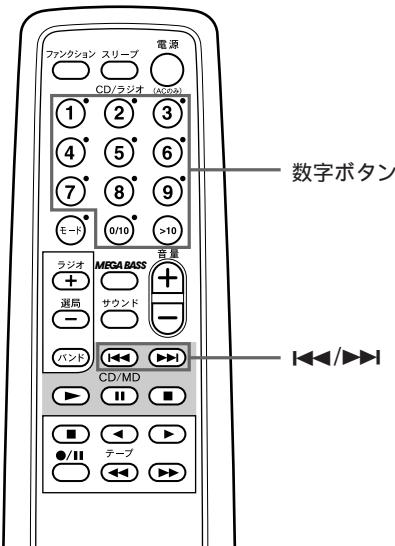
表示	押す回数
演奏中の曲番と曲の残り時間*	1回
CD全体の残りの曲数と残り時間	2回
演奏中の曲番と演奏経過時間	3回

*21曲以降の曲では、演奏中の曲の残り時間は「---」と表示されます。

聞きたい曲を選ぶ

(ダイレクト選曲 / サーチ)

数字ボタンですぐに聞きたい曲の演奏が始まられます。◀◀または▶▶ボタンで曲の中の聞きたい部分を探すこともできます。



C
D

ご注意

ダイレクト選曲の場合は、表示窓に「SHUFFLE」「REP SHUF」「PROGRAM」*「REP PGM」*が出ていたら、CD/MDの■ボタンを押して消します。

ちょっと一言

11曲目以降の曲を選ぶには、>10ボタンを押したあと10の位の数、1の位の数という順に数字ボタンを押します。

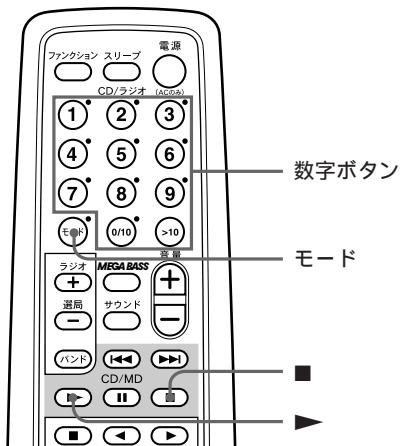
例：23曲目を選ぶときは、
>10 2 3の順に押します。

* プログラムされていないときは「PROGRAM SET」「REP PGM SET」と表示されます。

選びかた/探しかた	操作のしかた
曲番で直接選ぶ (ダイレクト選曲)	聞きたい曲番の数字ボタンを押す。
聞きながら探す (サーチ)	演奏中に◀◀または▶▶ボタンを押したままにする。 (本体ではTUNING/SEARCH◀◀/-または+/▶▶ボタンを使います。)
表示窓の演奏時間を見ながら探す (高速サーチ)	一時停止中に◀◀または▶▶ボタンを押したままにする。 (本体ではTUNING/SEARCH◀◀/-または+/▶▶ボタンを使います。)

繰り返し聞く (リピート演奏)

CDの全曲または1曲を繰り返し聞くことができます。シャッフル演奏やプログラム演奏を繰り返すこともできます。



ご注意

1曲リピート、全曲リピートの場合は、表示窓に「SHUFFLE」「REP SHUF」「PROGRAM」「REP PGM」が出ていたら、■ボタンを押して消します。

本体では

1 CDの■ボタンを押す。

2 MENUボタンを押す。

3 ジョグダイヤルを回して「MODE」を点滅させ、ENTERボタンを押す。



4 ジョグダイヤルを回して「REPEAT 1」「REPEAT ALL」「REP SHUF」「REP PGM」のどれかを点滅させ、ENTERボタンを押す。(「REP PGM」を選んだら、ジョグダイヤルとENTERボタンでプログラムする。)

5 CDの▶ボタンを押す。

* プログラムされていないときは「PROGRAM SET」「REP PGM SET」と表示されます。

1 ■ボタンを押す。

「CD」が表示されます。

2 次の操作をする。

リピートの種類 押すボタン

1曲だけ繰り返す

1 モードボタンを押して「REPEAT 1」を表示させる。
2 数字ボタンを押して曲を選ぶ。

全曲を繰り返す

1 モードボタンを押して「REPEAT ALL」を表示させる。
2 ▶ボタンを押す。

順不同に繰り返す

1 モードボタンを押して「REP SHUF」(REPEAT SHUFFLE)を表示させる。
2 ▶ボタンを押す。

プログラムした曲順で繰り返す

1 プログラムする(21ページの手順1~5)。
2 モードボタンを押して「REP PGM」(REPEAT PROGRAM)を表示させる。
3 ▶ボタンを押す。

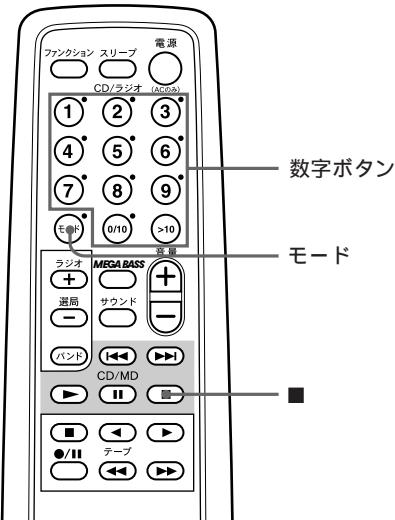
リピート演奏をやめるには

モードボタンを押して「REPEAT」「REP」を消します。

1曲だけ聞く

(1曲演奏)

CDの1曲だけを演奏して止まります。



本体では

- 1 CDの■ボタンを押す。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ジョグダイヤルを回して「MODE」を点滅させ、ENTERボタンを押す。
- 4 ジョグダイヤルを回して「1 TRACK」を点滅させ、ENTERボタンを押す。
- 5 ジョグダイヤルを回して曲を選び、CDの▶ボタンを押す。

1 ■ボタンを押す。

「CD」が表示されます。

2 モードボタンを押して「1 TRACK」を表示させる。

1 TRACK
00

3 数字ボタンを押す。

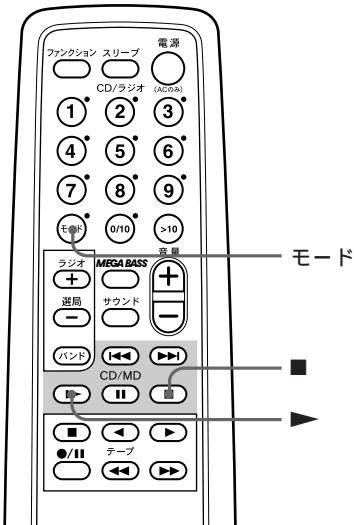
選んだ曲の演奏が始まります。

1曲演奏をやめるには

モードボタンを押して「1 TRACK」を消します。

順不同に聞く (シャッフル演奏)

CDに入っている全曲を順不同に聞くことができます。



本体では

- 1 CDの■ボタンを押す。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ジョグダイヤルをまわして「MODE」を点滅させ、ENTERボタンを押す。
- 4 ジョグダイヤルをまわして「SHUFFLE」を点滅させ、ENTERボタンを押す。
- 5 CDの▶ボタンを押す。

1 ■ボタンを押す。

「CD」が表示されます。

2 モードボタンを押して「SHUFFLE」を表示させる。

SHUFFLE
00

3 ▶ボタンを押す。

演奏が始まります。

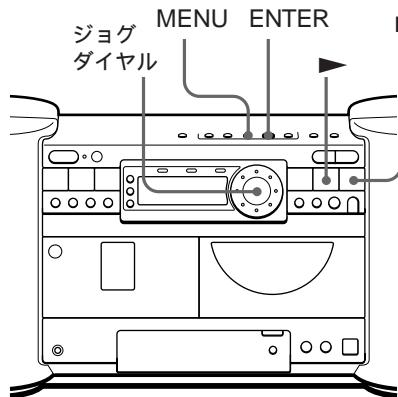
シャッフル演奏をやめるには

モードボタンを押して「SHUFFLE」を消します。

聞きたい曲を 好きな順に聞く

(プログラム演奏)

CDを聞きながら好きな曲を選んで、聞きたい順に20曲までプログラムすることができます。



1 ►ボタンを押す。

演奏が始まります。

2 MENUボタンを押す。



3 ジョグダイヤルを回して「PROGRAM SET」を点滅させ、ENTERボタンを押す。

4 ジョグダイヤルを回して(リモコンでは数字ボタンを押して)曲を選び、ENTERボタンを押す。 この操作を繰り返す。



次のページへつづく

ちょっと一言

- 曲番を選び間違えたときは、CANCELボタンを押してから、ジョグダイヤルとENTERボタンで曲を選び直します。
- 停止中にもプログラムすることができます。

ご注意

21曲以上入ったCDの21曲目以降の曲をプログラムすると、プログラムの合計時間は「--:--」と表示されます。

聞きたい曲を好きな順に聞く(プログラム演奏)(つづき)

ちょっと一言

- プログラム演奏が終わっても、作ったプログラムは残っています。▶ボタンを押すと同じプログラムをもう一度聞くことができます。
- CDトレイを開けるとプログラムの内容は消えます。
- プログラム演奏を録音するには、手順5のあとでDUB START CD TAPEボタンを押します。

5 ■ボタンを押す。

6 ▶ボタンを押す。

プログラムした順に演奏が始まります。

プログラム演奏をやめるには

リモコンのモードボタンを押して「PROGRAM」を消します。

曲順を確認するには

停止中にジョグダイヤルを回すと、プログラムした順で曲番号が表示されます。

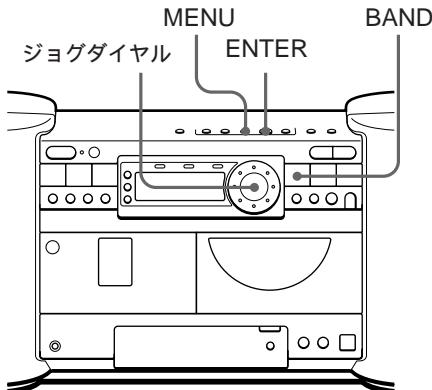
プログラムを変更するには

演奏を始める前に、変更します。

変更のしかた	操作のしかた
最後の曲から消す	1 CANCELボタンを押す。最後にプログラムした曲が消えます。 2 ジョグダイヤルとENTERボタンでプログラムし直す。
プログラムをしなおす	1 ■ボタンを押して、プログラムをすべて消す。 2 初めからプログラムし直す。

放送局を記憶させる

受信状態の良い放送局を自動的に記憶させ、次からは記憶させた番号(プリセット番号)でその局を選ぶことができます。FM、AM各10局ずつ、合計20局まで記憶できます。また、記憶させた放送局の名前をつけることもできます。



ラジオ

- 1 BANDボタンを押して、FMかAMを選ぶ。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ジョグダイヤルを回して「MEMORY」を点滅させ、ENTERボタンを押す。



- 4 ジョグダイヤルを回して「AUTO」を点滅させ、ENTERボタンを押す。

プリセット番号の1番から順に、周波数の低い局から高い局へ受信状態の良い局が自動的に記憶されます。

[次のページへつづく](#)

放送局を記憶させる(つづき)

本体では

- 1 BANDボタンを押して、FMかAMを選ぶ。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ジョグダイヤルを回して「MEMORY」を点滅させ、ENTERボタンを押す。
- 4 ジョグダイヤルを回して「MANUAL」を点滅させ、ENTERボタンを押す。
- 5 ジョグダイヤルを回してプリセット番号を選び、TUNING/SEARCH◀◀/-または+/▶▶ボタンで周波数を選ぶ。
- 6 ENTERボタンを押す。

入力できる文字は

- カタカナ
- アルファベットA~Zの大文字、小文字
- 数字0~9
- 記号！# \$ % & () * , ; < = > ? @ _ ` + - ' / : ハフスペース)

ちょっと一言

文字を間違えたときは、CANCELボタンを押します。最後に入力した文字が消えますので、入れ直してください。

電波が弱くオートプリセットで記憶できなかった局があるときや、特定のプリセット番号に記憶させたいときは

リモコンで操作します。

- 1 バンドボタンを押して、FMかAMを選ぶ。
- 2 選局+/-ボタンを押して、放送局を選ぶ。
- 3 記憶させたいプリセット番号の数字ボタンを約2秒間押したままにする。

新しい放送局を記憶すると、同じプリセット番号に記憶されていた前の局は消えます。

記憶させた放送局に名前をつけるには

- 1 リモコンの数字ボタンを押して、記憶させた放送局を受信する。
- 2 ENTERボタンを約2秒間押す。



- 3 ジョグダイヤルを回して文字を選び、ENTERボタンを押す。
- 4 手順3をくり返して放送局名などをつける(最大10文字まで)
- 5 ENTERボタンを約2秒間押す。



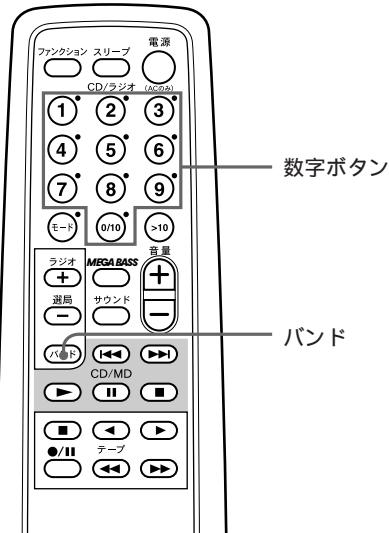
表示を切り換えるには

DISPLAYボタンを押します。

押すたびに周波数表示と放送局名表示が切り換わります。

記憶させた放送局を聞く

リモコンの数字ボタンや本体のジョグダイヤルで、簡単に放送局を選ぶことができます。



本体では

ジョグダイヤルを回して聞きたい局のプリセット番号を表示させます。

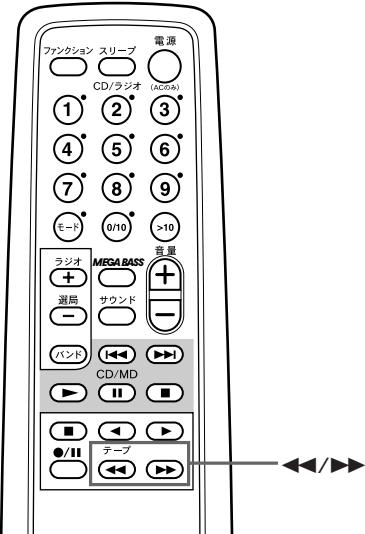
1 バンドボタンを押して、FMかAMを選ぶ。

2 聞きたい局のプリセット番号の数字ボタンを押す。



曲の頭出しをする

テープの曲と曲の間の無音部分(あき)を探して、簡単に頭出しができます。



ご注意

- 非常に小さい音の部分が何秒か続くと、曲の途中でも再生が始まることがあります。
- 曲間の無音部分から頭出しが始めると、正確に頭出しができないことがあります。
- 正確に頭出しがするには約4秒の無音部分が必要です。

再生中に次のボタンを押す。

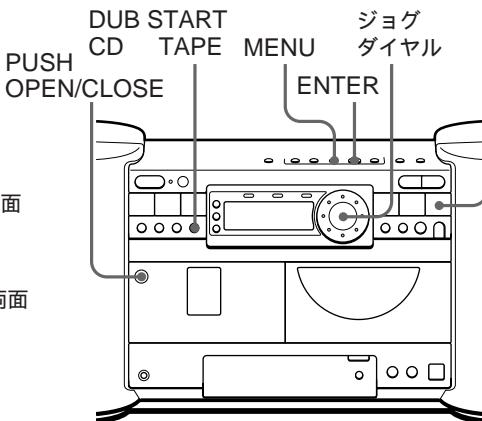
再生している面	次の曲の頭出し	今聞いている曲の頭出しき
手前面 (►)	►►	◀◀
反対面 (◀)	◀◀	►►

曲の初めまで早送りまたは早戻しされ、自動的に再生が始まります。

CDを編集録音する

編集録音の方法には3種類あります。

- CDの全曲を曲順を変えずにテープの両面にふり分けて録音する。
(EDIT ALL)
- 自分でプログラムした曲順でテープの両面にふり分けて録音する。(EDIT PGM)
- 指定した1曲だけを録音する。
(EDIT 1TRACK)



ちょっと一言

- 編集録音では最大20曲までのCDが使えます。テープの時間は2分単位で98分まで表示されます。
- 録音するときは、乾電池ではなく付属の電源コードを使用することをおすすめします。

ご注意

操作の途中でCDトレイを開けると、録音用に設定した内容が消えてしまします。始めからやり直してください。

CD全曲を録音する(EDIT ALL)

A面とB面にほぼ半分ずつ、しかも曲の途中でテープが反転しないようにふり分けます。必要なテープの時間が表示されるので、余りの少ない録音テープができます。また、お手持ちのテープに合わせて、テープ時間を設定することもできます。

1 ■ボタンを押して、「CD」を表示させる。

2 MENUボタンを押す

3 ジョグダイヤルを回して「EDIT」を点滅させ、ENTERボタンを押す。



次のページへつづく

CDを編集録音する(つづき)

- 4 ジョグダイヤルを回して「EDIT ALL」を点滅させ、ENTERボタンを押す。



録音に必要な最小限のテープの時間が点滅します。

(例) 録音に必要なテープの時間: 26分

片面最大13分録音可能

1(曲目) 2 3 4 5 6 7
01:20 02:30 03:40 04:50 05:10 04:20 01:30
A面 12:20 B面 11:00



- 5 テープの時間を変えるときは、ジョグダイヤルで時間を入れ直す。

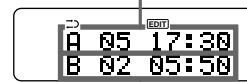
テープの時間を変えないときは、手順6に進む。

(例) テープの時間「40分」を入力

片面最大20分録音可能

1(曲目) 2 3 4 5 6 7
01:20 02:30 03:40 04:50 05:10 04:20 01:30
A面 17:30 B面 5:50

- 6 ENTERボタンを押す。 手前面の曲数と合計時間



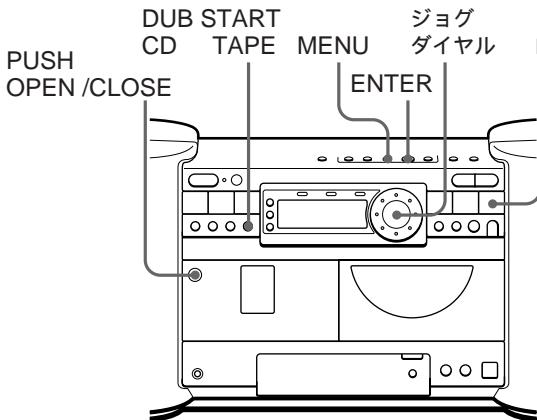
反対面の曲数と合計時間

- 7 デッキにカセットを入れる。

- 8 DUB START CD TAPEボタンを押す。

テープの手前面から録音が始まります。





ちょっと一言

テープの時間は2分単位で
98分まで表示されます。

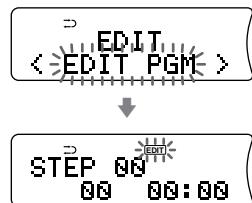
ご注意

操作の途中でCDトレイを開けると、録音用に設定した内容が消えてしまします。始めからやり直してください。

プログラムした曲順で録音する (EDIT PGM)

CDを、好きな曲順でA面とB面にほぼ半分ずつ分けてます。必要なテープの時間が表示されるので、余りの少ない録音テープができます。また、テープの時間変えることもできます。

- 1** ■ボタンを押して、「CD」を表示させる。
- 2** MENUボタンを押す。
- 3** ジョグダイヤルを回して「EDIT」を点滅させ、ENTERボタンを押す。
- 4** ジョグダイヤルを回して「EDIT PGM」を点滅させ、ENTERボタンを押す。



次のページへつづく

CDを編集録音する(つづき)

ちょっと一言

プログラムを間違えたときは、CANCELボタンを押します。最後に設定した内容が消えますので、設定し直してください。

- 5** ジョグダイヤルを回して録音したい曲を選び、ENTERボタンを押す。(リモコンでは数字ボタンを押す。)
この操作を繰り返す。



- 6** ENTERボタンを押す。

録音に必要な最小限のテープの時間が点滅します。



- 7** テープの時間を変えるときは、ジョグダイヤルを回して時間を入れ直す。
テープの時間を変えないときは、手順8へ進む。

ちょっと一言

プログラムの曲順を確認するには
手順8のあとにENTERボタンを押してジョグダイヤルを回します。プログラムした順で曲番が表示されます。

- 8** ENTERボタンを押す。

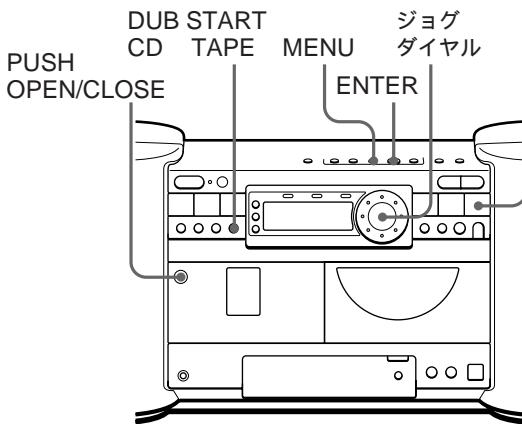


- 9** デッキにカセットを入れる。

- 10** DUB START CD TAPEボタンを押す。

テープの手前面から録音が始まります。

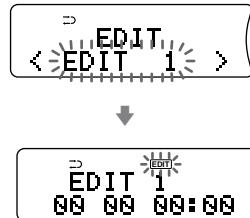




1曲だけを録音する(EDIT 1TRACK)

CDシングルの1曲目だけを録音するときや、複数のCDから1曲ずつ選んで録音するときに便利です。自動的に両面録音になります。

- 1 デッキにカセットを入れる。
- 2 ■ボタンを押して、「CD」を表示させる。
- 3 MENUボタンを押す。
- 4 ジョグダイヤルを回して「EDIT」を点滅させ、ENTERボタンを押す。
- 5 ジョグダイヤルを回して「EDIT 1」を点滅させ、ENTERボタンを押す。



[次のページへつづく](#)

CDを編集録音する(つづき)

- 6 ジョグダイヤルを回して(リモコンでは数字ボタンを押して)録音したい曲を選ぶ。



- 7 DUB START CD TAPEボタンを押す。

テープの手前面から録音が始まります。

選んだ曲の録音が始まります。

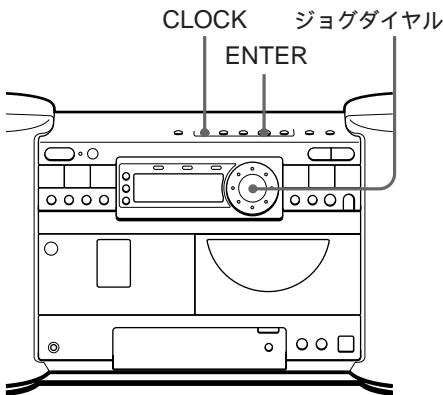


1曲の録音が終わるとCDとテープは停止し、録音した曲数とそれらの録音時間の合計が表示されます。

続けて次の曲を録音するには、上記の手順6を繰り返すか、別のCDに交換してから上記の手順6を繰り返してください。

時計を合わせる

本機の時計は、時刻を合わせるまで「AM 12:00」が表示されています。



タイマー

ご注意

乾電池でお使いのときは、電源が入った状態で時計合わせをしてください。

ちょっと一言

- 本機の時計は12時間表示です。
真夜中「AM12:00」
正午 「PM12:00」
- 秒まで正確に合わせるには、時報サービス(117番)をご利用になると便利です。
- 電源コードをお使いの場合、時計が動いているときは、コロン(:)が点滅します。

操作の前に

電源の準備をしてください(39、40ページ参照)

- 時計表示が点滅するまで、CLOCKボタンを押したままにする。

CLOCK ADJUST
AM 12:00

- 時刻を合わせる。

① ジョグダイヤルを回して「時」を合わせ、ENTERボタンを押す。

CLOCK ADJUST
AM 8:00

② ジョグダイヤルを回して「分」を合わせる。

CLOCK ADJUST
AM 8:45

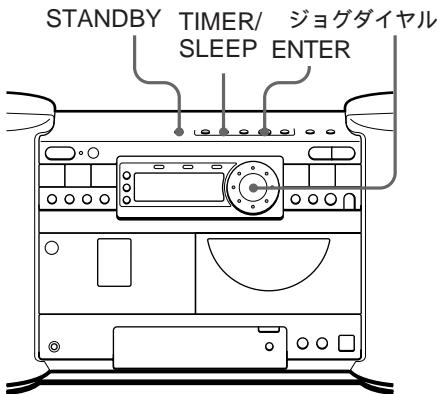
- ENTERボタンを押す。

00秒から時計が動きます。

音楽で目覚める

好きな音楽やラジオ番組を目覚まし代わりにすることができます。

本機の時計合わせをしてから操作してください(33ページ参照)。



ご注意

- 乾電池でお使いのときは、電源が入った状態で設定してください。
- 目覚ましタイマーとラジオの留守録音(37ページ)は同時に予約できません。

操作の前に

表示窓に①が出ていたら、STANDBYボタンを押して消します。

1 聞きたい音源の準備をする。

音源	準備
CD	CDを入れる。
RADIO(ラジオ)	聞きたい局を受信する。
TAPE(テープ)	聞きたい面を手前にしてテープを入れる。
LINE(外部入力)	LINE IN端子につないだ機器の電源を入れる。

2 TIMER/SLEEPボタンを押す。



3 ジョグダイヤルを回して「TIMER SET」を点滅させ、ENTERボタンを押す。



4 ジョグダイヤルを回して「TIMER PLAY」を点滅させ、ENTERボタンを押す。

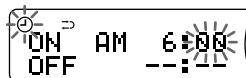
5 ジョグダイヤルを回して聞きたい音源('CD'、「TAPE」、「RADIO」、「LINE」)を表示させ、ENTERボタンを押す。

ちょっと一言

設定を間違えたときは、CANCELボタンを押します。最後に設定した内容が消えますので、設定し直してください。

6 再生を始める時刻を設定する。

- ① ジョグダイヤルを回して
「時」を合わせ、ENTER
ボタンを押す。



- ② ジョグダイヤルを回して
「分」を合わせ、ENTER
ボタンを押す。

7 同じように再生を止める時刻を設定する。

8 ジョグダイヤルを回して 希望の音量を表示させ、 ENTERボタンを押す。



9 STANDBYボタンを押す。

電源が切れ予約待機状態になり、⑦が表示されます。予約した時刻になると自動的に再生が始まります。終了時刻になると電源が切れ予約待機状態になります。

ちょっと一言

- 予約待機状態を取り消すには、STANDBYボタンを押して表示窓の⑦を消します。
- 予約内容は別の予約をしない限り保持されます。
- 予約再生中は、表示窓のバックライト照明はつきません。

予約した内容を確かめたり、変更するには

TIMER/SLEEPボタンを押し、ジョグダイヤルで「TIMER SET」を選んでから、ENTERボタンを押します。押すたびに設定した順に予約内容が表示されます。変更したい場合は、その内容を表示させて、そこから設定をやり直します。

予約したあとでラジオなどを聞くには

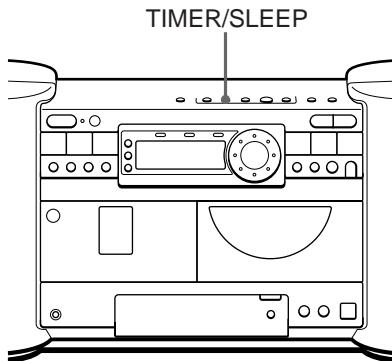
電源を入れれば、通常の操作ができます。(ラジオの場合34ページの手順1で受信した局とは別の局を聞くと、予約した時間には、その別の局が始まります。)予約した時間になる前に電源を切ります。

予約再生中、途中で止めるには

電源を切ります。

音楽を聞きながら眠る

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。時間は10分、20分、30分、60分、90分、120分の中から選べます。音楽を聞きながら安心してお休みになれます。



リモコンでは

スリープボタンを繰り返し押して、時間(分)を選びます。

ちょっと一言

- ・スリープ機能が働いているときは、表示窓のバックライト照明はつきません。
- ・目覚ましとスリープ機能を組み合わせて使うことができます。このときは、先に目覚ましを予約してから(34ページ参照)電源を入れ、スリープ機能を働かせます。
- ・目覚ましとスリープ機能で違う音楽を聞くことができます。ただし、ラジオでは別の局を設定することはできません。
- ・目覚ましとスリープ機能で違う音量を設定できます。たとえば、小さな音量で眠り、大きな音量で目覚めることができます。

1 聞きたい音楽の演奏を始める。

2 TIMER/SLEEPボタンを押す。

3 ジョグダイヤルを回して「SLEEP SET」を点滅させ、ENTERボタンを押す。

TIMER SET
SLEEP SET

4 ジョグダイヤルを回して時間(分)を選びます。

「10」→「20」→「30」→
「60」→「90」→「120」
→「OFF」と変わります。

SLEEP
10 minutes

ジョグダイヤルを止めてから4秒間そのままにすると、そのとき表示されている時間に設定されます。

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。

スリープ機能を途中で止めるには

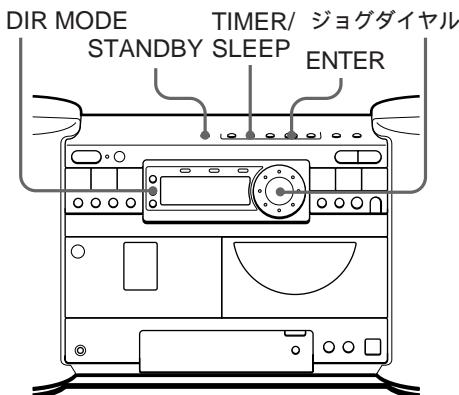
手順2から始め、手順4で「OFF」を表示させます。

スリープ時間を変更するには

手順2からやり直してください。

留守中にラジオ を録音する

留守中や深夜など、その場で録音できないときにタイマーを使って録音できます。
本機の時計合わせをしてから操作してください(33ページ参照)。



タイマー

ご注意

- 乾電池でお使いのときは、電源が入った状態で設定してください。
- ラジオの留守録音と目覚まし(34ページ)は同時に予約できません。

ちょっと一言

- 録音するときは、乾電池ではなく付属の電源コードを使用することをおすすめします。
- AM放送を録音するとき、手順1で受信した後、●/IIボタンを押してピーという雑音が出ないか確認してください。もし出ていたら、次の操作をしてください。

リモコンのモードボタンをくり返し押して、「ISS-1」「ISS-2」「ISS-3」のうち、雑音が最小になるところを選びます。

本体のメニュー画面で「ISS」を選んでも設定できます。

操作の前に

表示窓に①が出ていたら、STANDBYボタンを押して消します。

1 録音したい放送局を受信し、デッキに録音用力セットを録音する面を手前にして入れる。

2 DIR MODEボタンを押して、録音する面(片面か両面)を選ぶ。

表示窓
片面
両面

3 TIMER/SLEEPボタンを押す。

4 ジョグダイヤルを回して「TIMER SET」を点滅させ、ENTERボタンを押す。



5 ジョグダイヤルを回して「TIMER REC」を点滅させ、ENTERボタンを押す。

次のページへつづく

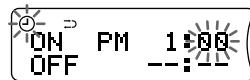
留守中にラジオを録音する(つづき)

ちょっと一言

設定を間違えたときは、CANCELボタンを押します。最後に設定した内容が消えますので、設定し直してください。

6 録音を始める時刻を設定する。

- ① ジョグダイヤルを回して「時」を合わせ、ENTERボタンを押す。



- ② ジョグダイヤルを回して「分」を合わせ、ENTERボタンを押す。

7 同じように録音を止める時刻を設定する。

8 ジョグダイヤルを回して希望の音量を表示させ、ENTERボタンを押す。



9 STANDBYボタンを押す。

電源が切れ予約待機状態になり、①と録音されるテープ面表示(上面▶または反対面◀)が出ます。録音される面を切り換えるには、もう一度STANDBYボタンを押します。

予約した時刻になると自動的に録音が始まり、終了時刻になると電源が切れ予約待機状態になります。

ちょっと一言

- ・予約待機状態を取り消すには、STANDBYボタンを2回押して表示窓の②を消します。
- ・予約内容は別の予約をしない限り保持されます。
- ・両面録音の場合は、両面の録音が終わるとそこで止まり、上書きはされません。
- ・予約録音中は、表示窓のバックライト照明はつきません。

予約した内容を確かめたり、変更するには

TIMER/SLEEPボタンを押し、ジョグダイヤルで「TIMER SET」を選んでから、ENTERボタンを押します。押すたびに設定した順に予約内容が表示されます。変更したい場合は、その内容を表示させて、そこから設定をやり直します。

予約したあとでラジオなどを聞くには

電源を入れれば、通常の操作ができます。予約した時間になる前にもう一度録音したい放送局を受信し、電源を切ります。

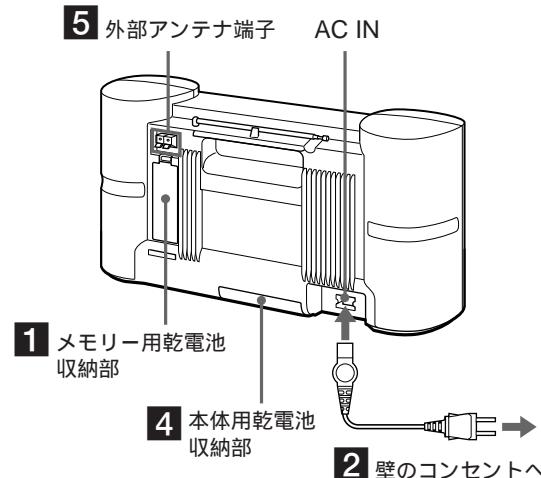
予約録音中、途中で止めるには

電源を切ります。

接続する

家庭用電源または、乾電池のいずれかを選んでお使いになれます。

録音するときは、電力消費量が大きいため、家庭用電源でお使いください。



ご注意

電源コードを抜いたり乾電池を取り出す前に、必ず電源を切ってください。

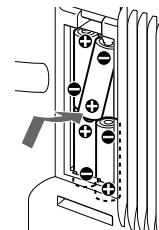
ちょっと一言

電源コードの極性(コンセントにプラグを差し込む向き)により音質が微妙に変わります。どちらかお試しになり、好みの音質でお聞きください。

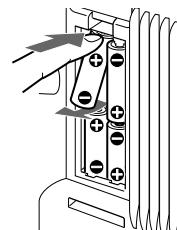
1 メモリー用乾電池を入れる

停電時に内蔵タイマーや放送局の記憶内容を保つためには、メモリー用乾電池を入れてお使いください。

単3形乾電池4個
(別売り)



乾電池を交換するときは
図のようにして取りはずしてください。



2 電源コードを接続する

本機のAC INジャックへ差し込んだあと、壁のコンセントへ差し込んでください。

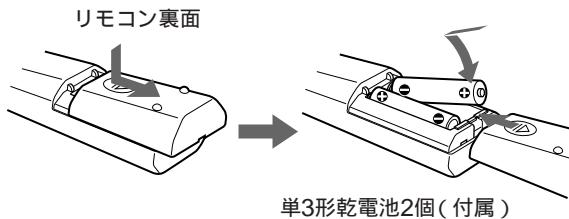
次のページへつづく

電源を準備する(つづき)

ちょっと一言

乾電池のみで使用中、メモリー用の乾電池が消耗していくと、表示窓の時計表示が薄くなったり、タイマーの操作ができなくなったりします。乾電池をすべて新しいものと交換してください。電池は約6か月もちます。電源コードをつないだままで交換すると記憶内容がそのまま残ります。

3 リモコンに乾電池を入れる



単3形乾電池2個(付属)

乾電池の交換について

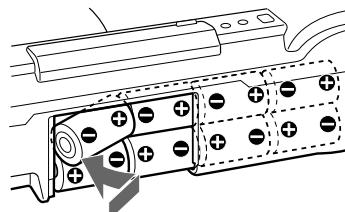
乾電池が消耗していくと、リモコンで操作できる距離が短くなります。乾電池をすべて新しいものと交換してください。ふつうの使いかたで約6か月もちます。

ご注意

- 乾電池を出し入れするときは、CDを取り出しておいてください。CDトレイからCDがずれて、傷つくことがあります。
- 乾電池を出し入れするときは、他の機器とつないでいる接続コードやケーブルをはずしてください。接続コードやケーブルが傷つくことがあります。
- 乾電池でお使いの場合は、表示窓のバックライトはつきません。
- 乾電池でお使いの場合、リモコンで電源を入れることはできません。

4 乾電池を入れる

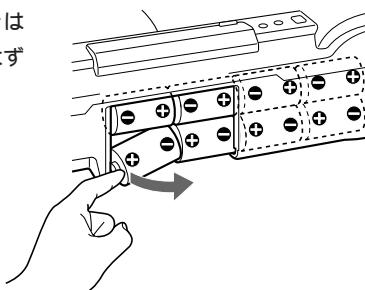
乾電池でお使いになるときは、本体から電源コードを抜いてください。



乾電池の交換について

乾電池のみで使用中、乾電池が消耗していくとOPR/BATTランプが暗くなったり、自動的に電源が切れたりします。乾電池をすべて新しいものと交換してください。

乾電池を交換するときは図のようにして取りはずしてください。



ご注意

- アンテナは、接続コードからできるだけ離してください。

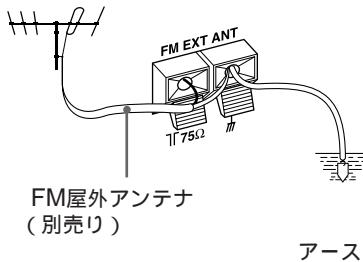
雑音の原因になります。

- 屋外アンテナを立てたときは、雷による危険を防ぐために Δ 表示のある端子にアースをつないでください。

市販のビニール線を Δ 表示のある端子につなぎ、もう一方の端を銅製の金属棒につないで地中に埋めます。または鋼管製の水道管につなぎます。ガス管につなぐのは危険です。絶対にやめましょう。

5 外部アンテナを接続する

FM放送の受信状態を良くするには、FM屋外アンテナ(別売り)をつなぎます。分配器を使えば、TV用アンテナでも代用できます。



ポータブルMD レコーダーを つないで使う

付属のMDコントロール用接続コードでソニーのポータブルMDレコーダー MZ-R30/R50を本機につなげば、本機でMDを操作することができます。また、ボタンひとつでCDをMDに録音することもできます。

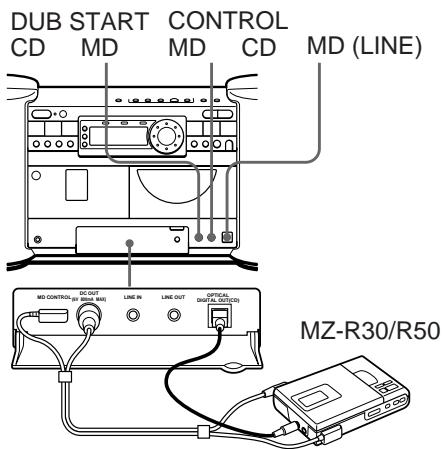
ポータブルMDレコーダーの取扱説明書も併せてご覧ください。

ご注意

ポータブルMDレコーダーを操作するときは、本機を家庭用電源でお使いください。乾電池で使うとポータブルMDレコーダーには電源は供給されません。

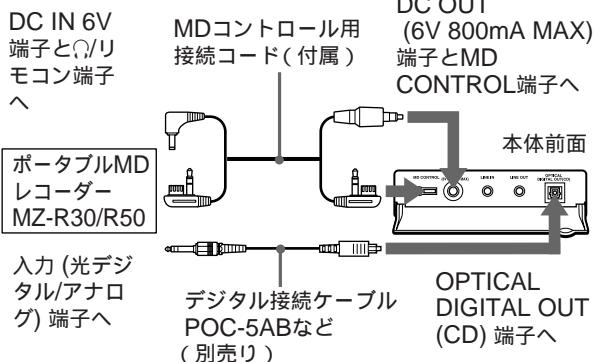
ちょっと一言

- 本機からポータブルMDレコーダーに電源を供給するときは、同時にポータブルMDレコーダーに入れた充電式リチウムイオン電池LIP-12も充電することができます。
- よりよい音質で聞くためには、別売りのオーディオ接続コード(RK-G136など)を本機のLINE IN端子とポータブルMDレコーダーの出力端子につないでください。
- CDからMDに録音をしないときは手順3の接続は不要です。



ポータブルMDレコーダーMZ-R30/R50 を接続する

まず、本機からポータブルMDレコーダーへ電源を供給するための接続と、MDの音を本機で聞くための接続、そして本機のCDからMDへデジタル録音するための接続をします。接続するときは電源を切ってください。



1 付属のMDコントロール用接続コードをポータブルMDレコーダーのDC IN 6V端子、 \ominus /リモコン端子と本機のDC OUT (6V 800mA MAX) 端子、MD CONTROL端子につなぐ。

ポータブルMDレコーダーの電源も本機から供給されます。

2 ポータブルMDレコーダーの音量を最大にして、デジタルメガベース機能を解除する。

3 別売りのデジタル接続ケーブルをポータブルMDレコーダーの入力(光デジタル/アナログ)端子と本機のOPTICAL DIGITAL OUT (CD) 端子につなぐ。

MDの音を聞く

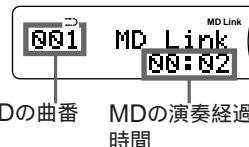
本機の本体やリモコンのボタンでポータブルMDレコーダーを操作することができます。

- 1 MD (LINE) ボタンを押してポータブルMDレコーダーを操作できるようにする。



- 2 本機の▶ボタンを押す。

MDの再生が始まり、本機のスピーカーから音が出ます。



ポータブルMDレコーダー操作上のご注意

- 停止中にジョグダイヤルを回すと、再生が始まります。
- 再生中に▶ボタンを押すと、次の曲に進みます。
- 再生しながら早戻ししたり、早送りすることはできません。
- 本機のリモコンの数字ボタンは使えません。

その他の操作

こんなときは	押すボタン / 操作
再生を止める	CDの■
再生中に一時停止する	II もう一度押すと演奏が始まる。
曲の頭に戻す/ 次の曲へ進む	ジョグダイヤルを回す (◀◀/▶▶)
リピート再生する	リモコンのモードボタンを繰り返し押して「REPEAT ALL」、「REPEAT 1」または「REP SHUF」を選ぶ。
曲名*や曲の時間を見る	DISPLAY 押すたびに表示が切り換わる

()内はリモコンのボタンです。

* 文字情報を記録しているディスクのときのみ表示します。

本機のCDを操作するには

本機のCONTROL MD CDボタンを押します。

次のページへつづく

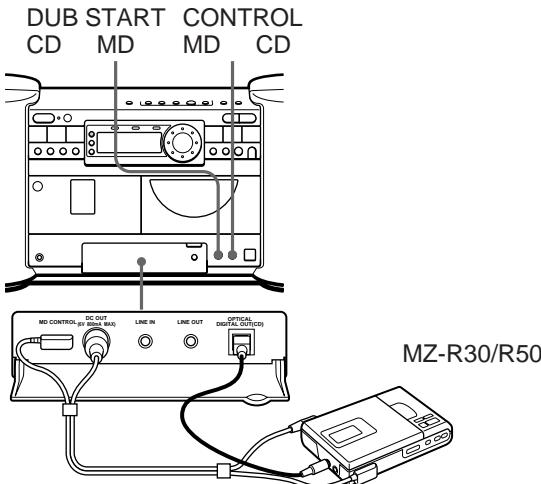
ポータブルMDレコーダーをつないで使う(つづき)

ちょっと一言

- 複数のCDから1曲ずつ録音するときは、EDIT 1TRACK機能が便利です。(31ページ参照)
1 31、32ページの手順2~6を行う。
- 2 DUB START CD MDボタンを押す。
1曲の録音が終わるとCDとMDは停止します。この操作を繰り返します。
- MDにアナログ接続で録音するには：
 - 別売りのオーディオ接続コード(RK-G136など)を、本機のLINE OUT端子とポータブルMDレコーダーの入力(光デジタル/アナログ)端子へつなぐ。
 - 電源を入れる。
 - 接続した機器を録音状態にする。
 - 本機のCDの再生を始めると。

ラジオやテープからMDに録音するには、上記の手順3のあとにラジオまたはテープの再生を始めます。(ラジオからMDに録音するとき雑音が入る場合は、ポータブルMDレコーダーができるだけ本機から離し、ポータブルMDレコーダーの向きを変え、雑音が最小になるところを選んでください。)

CDからMDにデジタル録音する
ボタンひとつでCDをまるごとMDにダビングできます。



- 1 本機にCDを入れる。
- 2 CONTROL MD CDボタンを押して、CDを操作できるようにする。

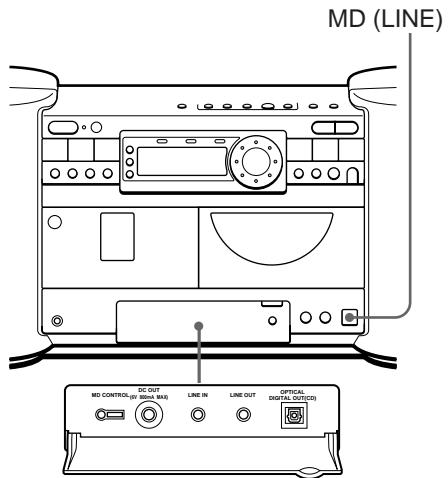
MD Link
12 55:27

- 3 ポータブルMDレコーダーに録音用MDを入れ、録音を始めた位置に合わせる。(くわしくは、ポータブルMDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。)
 - 4 ポータブルMDレコーダーのシンクロ録音スイッチを「入」にする。
 - 5 ポータブルMDレコーダーの表示窓に表示が出ていることを確認してから、本機のDUB START CD MDボタンを押す。
録音が始まります。
- 録音を止めるには
CDの■ボタンを押す。

その他の機器をつないで使う

テレビ、ビデオの音を本機のスピーカーで聞いたり、CDをDATに録音することもできます。

他の機器と接続するときは電源を切ってください。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。



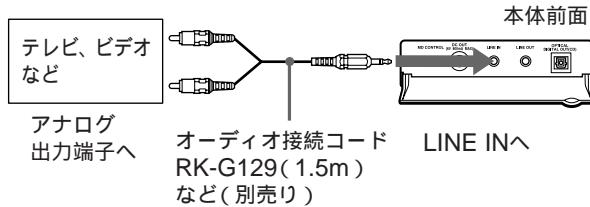
ご注意

- 接続コードはしっかりと差し込んでください。誤動作の原因になります。
- 本機のLINE IN端子につなぐときは、MDコントロール用接続コードはMD CONTROL端子からはずしておいてください。

ちょっと一言

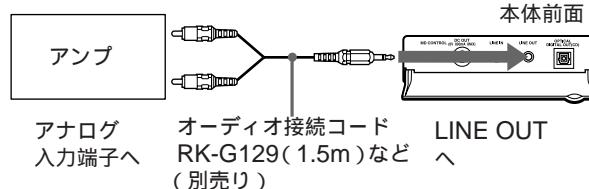
つないだ機器の音を録音するには、手順2のあとで、デッキにカセットを入れ、●/■ボタンを押したあとテープ▶ボタンを押します。(14ページ参照)

テレビやビデオの音を聞く



- 別売りの接続コードを接続する機器の出力端子と本機のLINE IN端子につなぐ。
- 本体の電源を入れ、MD (LINE) ボタンを押して表示窓に「LINE」を表示させる。
接続した機器からの音がスピーカーから出ます。

別のスピーカーで聞く



- 別売りの接続コードを接続する機器の入力端子と本機のLINE OUT端子につなぐ。
- 本機を操作する。

その他の機器をつないで使う(つづき)

ご注意

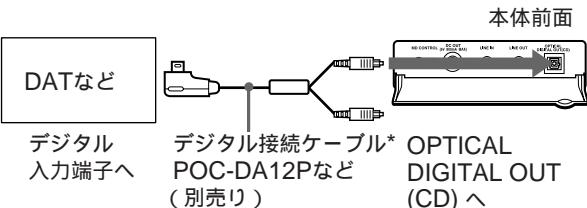
- 本機がCDを操作できる状態のとき、CDが停止状態でも光デジタル出力部は動作していますので、ジャックは光っています。
- CD-ROMなどの音楽用以外のディスクを演奏すると雑音が出ることがあります。

ちょっと一言

複数のCDから1曲ずつ録音するときは、EDIT 1TRACK機能が便利です。(31ページ参照)

- 接続する。
- 電源を入れる。
- 31、32ページの手順2~6を行う。
- 接続した機器を録音状態にする。
- 本機のCDの再生を始める。

CDをDATなどに光デジタル出力で録音する



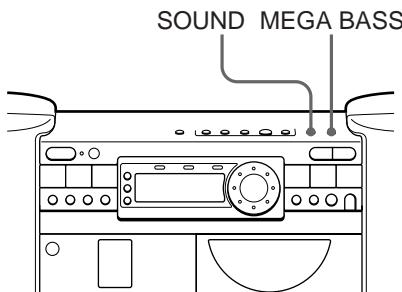
- 別売りのデジタル接続ケーブルを接続する機器のデジタル入力端子と本機のOPTICAL DIGITAL OUT (CD) 端子につなぐ。
- 電源を入れる。
- 接続した機器を録音状態にする。
- 本機のCDの再生を始める。

* 相手側のデジタル入力端子の形状によって、接続ケーブルが異なります。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。本機は角型光コネクターを採用しています。

接続する端子の形状	接続ケーブルの型名
L型7ピンコネクター (ポータブルDATなど)	POC-DA12P
角型光コネクター (MD、DATデッキなど)	POC-10A

好みの音質で 聞く

音楽や聞きかたに合わせた音質の設定を5種類の中から選べます。また重低音を強調することができます。



リモコンでは
サウンドボタンを押し
ます。

サウンド効果を楽しむ

SOUNDボタンを押す。

ボタンを押すごとに表示が切り換わります。希望の音質を選んでください。

SOUND MODE ポップスなどに
----- 中、高音域を強調し、軽やかで明るい感じになります

SOUND MODE ジャズなどに
低音をはっきりさせ、ずっしりとした音質になります。

SOUND MODE ボーカルを聞きたいときに
中音域が強調され、ボーカルをきわだたせます。

SOUND MODE クラシックなどに
----- ダイナミックレンジの広い音楽を聞くと
きに適しています

重低音を楽しむには

MEGA BASSボタンを押して「**MEGA BASS ON**」を表示させる。

通常の音に戻すには「MEGA BASS OFF」を表示させます。

使用上のご注意

置き場所について

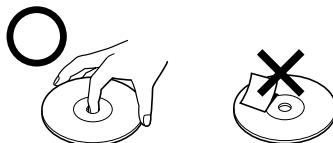
- 本機を壁や家具などにぴったりつけて置かないでください。本機裏面の通風孔がふさがれて過熱し、故障の原因となることがあります。
- 本機やカセットテープ、CD等を次のような場所には置かないでください。
 - 磁石やスピーカーのすぐそばなど、磁気を帯びたところ
 - テレビの近く

取り扱いについて

- CDトレイを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- 本機のスピーカーには強力な磁石を使っていますので、次のようなものは本機のそばに置かないでください。
 - 時計
 - クレジットカードなどの磁気カード
 - カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ
- カセットデッキを長い間使わなかったときは、数分間再生状態にして、ならし運転をしてください。よい状態でお使いいただけます。

CDの取り扱いかた

- 文字の書かれていない面(演奏面)に触れないように持ちます。
- 紙やシールなどを張ったり、傷つけたりしないでください。



- 長時間演奏しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとその原因になります。

CDのお手入れのしかた

- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。

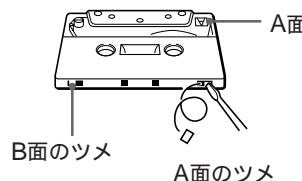
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方向へ軽く拭きます。



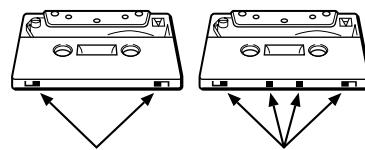
- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

大切な録音を守る—誤消去防止

ツメを折ると録音できなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をセロハンテープなどでふさげば再び録音できます。



TYPEII(ハイポジション)またはTYPEIV(メタル)カセットの穴をふさぐときは、間違って検出孔をふさがないように注意してください。検出孔をふさぐとテープ自動検出機能(ATS)が正しく働きません。



TYPEII(ハイポジション) カセット検出孔
TYPEIV(メタル) カセット検出孔

長時間テープをお使いのときは

90分を越えるテープは長時間使用には便利ですが、薄く伸びやすいテープです。こぎざみな走行、停止、早送り、早戻しなどを繰り返すと、テープが機械に巻き込まれる場合がありますので、ご注意ください。

故障かな?と思ったら

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。

症状	チェック項目
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">POWERボタンを押して電源を入れる。電源コードをAC INジャックとコンセントにしっかりと差し込む。本体用乾電池は$\oplus\ominus$を正しく入れる。(40ページ)本体用乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。(40ページ)音量を調節する。
共通	<ul style="list-style-type: none">スピーカーで聞くときは、ヘッドホンをPHONESジャックから抜く。
「ERROR」が表示される。	<ul style="list-style-type: none">間違った操作をした。/操作が受け付けられなかつた。取扱説明書を確認して操作し直す。
自動的に電源が切れる。	<ul style="list-style-type: none">本体用乾電池をすべて新しいものと交換する。(40ページ)
異常音が出る。 雑音が多い、音が小さい、音質が良くない。	<ul style="list-style-type: none">本体用乾電池が消耗していたらすべて新しいものと交換する。(40ページ)
演奏が始まらない。	<ul style="list-style-type: none">CDトレイが閉まっていることを確認する。
CDが入っているのに「NO DISC」が表示される。	<ul style="list-style-type: none">CDが裏返し 文字のある面を上にする。CDの汚れがひどい クリーニングする。(48ページ)レンズに露(水滴)がついている CDを取り出してCDトレイを開けたまま1時間くらい置く。CDの■ボタンを押して、CDの操作ができるようにする。
音がとぶ。 CD部	<ul style="list-style-type: none">CDによっては音がとぶことがあります。音量を下げてください。CDの汚れがひどい クリーニングする。(48ページ)CDに大きな傷があるとき CDを取り換える。振動のない場所に置く。
CDを聞くと、近くのテレビやラジオに雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none">本機をテレビやラジオからできるだけ離す。
CDの操作ができない。	<ul style="list-style-type: none">MDを操作する状態になっている。 CONTROL MD CDボタンを押して、CDの操作ができるようにする。

その他

故障かな?と思ったら(つづき)

症状	チェック項目
FMステレオにならない。	<ul style="list-style-type: none">MENUボタンを押して、「STEREO」を表示させ、ENTERボタンを押す。(11ページ)
ラジオ部 雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none">FMステレオ放送を受信しているときは、受信状態によっては雑音が多くなります。(11ページ)テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM放送を聞くと、テレビの画像が乱れことがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。AM放送受信時にリモコンで操作すると、雑音が入ることがあります。このラジオ(チューナー)のテレビ音声回路はFM放送の受信回路と兼用になっています。このため一部の地域ではテレビ2または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。その場合にはお近くのサービス窓口にご相談ください。
操作ボタンを押してもテープが動かない。	<ul style="list-style-type: none">カセットぶたをきちんと閉める。本体用乾電池をすべて新しいものと交換する。(40ページ)
テープ部 録音ができない。	<ul style="list-style-type: none">デッキに入れたカセットのツメが折れていたら、穴をセロハンテープなどでふさぐ。(52ページ)テープの■ボタンを押してテープの操作ができるようにする。
前の録音が完全に消えない。	<ul style="list-style-type: none">消去ヘッドをクリーニングする。(52ページ)
テープ部 雑音が多い。音質が良くない。	<ul style="list-style-type: none">本体用乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。(40ページ)ヘッド、ピンチローラー、キャブスタンをクリーニングする。(52ページ)ヘッド消磁器を使ってヘッドを消磁する。(52ページ)
再生中に一時停止ができない。	<ul style="list-style-type: none">一時停止ができるのは、録音時のみです。

症状	チェック項目
タイマーが働かない。 タイマー(時計部)	<ul style="list-style-type: none"> 時計を正しい時刻に合わせる。(33ページ) 本体用乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。(40ページ) デッキのカセットが最後まで巻きとられていないことを確かめる。 電源コードで使用中、停電があった。 ②表示が出ていることを確認する。
リモコンで操作ができない。 リモコン	<ul style="list-style-type: none"> リモコンの乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。(40ページ) リモコンを本体へ向けて操作する。 本体とリモコンの間に障害物があったら、取り除く。 本体リモコン受光部に強い光(直射日光や高周波点灯の蛍光灯など)が当たっていたら、当たらないようにする。
他の機器と接続 MD CONTROL端子につないだポータブルMDレコーダーの音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> LINE IN端子に他の機器を接続していたらはずす。

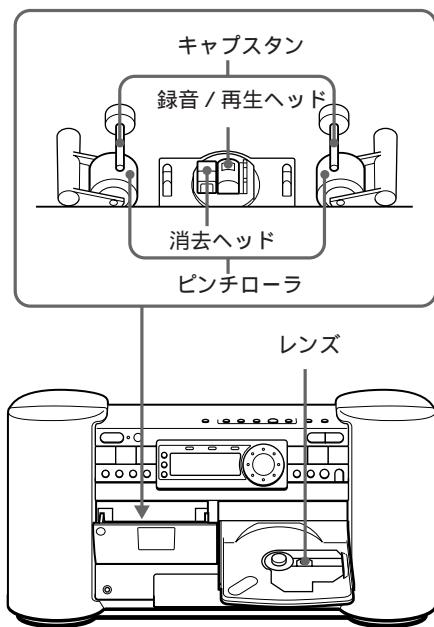
本機はマイコンを使用し、各連係動作を行っています。そのため、電源事情その他により、動作が不安定になることがあります。上記以外で動作が正常でないときは、電源コードをはずし、本体用とメモリー用の乾電池を取り出し、表示窓の表示がすべてて消えてから、再び乾電池を入れ、電源コードをつないでください。正しく動く場合があります。それでも正しく動かないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

お手入れ

ヘッド部のクリーニング

長い間使っていると、ヘッドが汚れてきて音が悪くなったり、途切れたり、あるいは録音ができなくなったりすることがあります。より良い音でステレオ録音、再生を楽しむために、およそ10時間使うごとに別売りのクリーニングキットKK-41を使ってクリーニングすることをおすすめします。市販の綿棒や柔らかい布にアルコールを軽く含ませて、図に示したテープが触れる面を軽く拭きます。

カセットはアルコールが完全に乾いてから入れてください。



録音 / 再生ヘッドの消磁

長い間使っていたり、録音/再生ヘッドに磁気を帯びたドライバーなどが触れたりすると、ヘッドが磁化され、そのまま録音や再生をするとボソボソという雑音が入ります。このようなときは、別売りのヘッド消磁器HE-6Cを使って録音/再生ヘッドに消磁をしてください。

キャビネットのクリーニング

本体の表面が汚れたときは、柔らかい布でから拭きします。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤液でしめた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

レンズのクリーニング

汚れた手でレンズを触っててしまったり、レンズの汚れが原因で音とびが起きたり、演奏できなくなったときは、別売りのクリーニングキットを使って、レンズをクリーニングしてください。

保証書と アフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックをこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルオーディオシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

主な仕様

CDプレーヤー部

型式	コンパクトディスクデジタル オーディオシステム
チャンネル数	2チャンネル
ワウ・フランジャー	測定限界以下(EIAJ*)
周波数特性	20 - 20,000Hz+0.5/-2dB (EIAJ)

ラジオ部

受信周波数	FM/TV: 76 - 108MHz (1 - 3 ch) AM: 531 - 1,629kHz
アンテナ	FM/TV: ロッドアンテナ 75w不平衡型 AM: フェライトバー アンテナ内蔵

カセットデッキ部・共通部

トラック方式	4トラック2チャンネル
スピーカー	フルレンジ:5cm、コーン型 8w、4個
早巻き時間	約130秒(ソニーカセット テープC-60 使用)
周波数範囲	TYPEI(ノーマル)カセット: 100-10,000Hz(EIAJ)
コントロール端子	MD CONTROLジャック1個
入力端子	LINE IN(ステレオミニ ジャック)1個 最小入力レベル 250mV
出力端子	PHONES(ステレオミニ ジャック)1個 負荷インピーダンス 16-68W DC OUT(6V 800mA MAX) ジャック 1個 LINE OUT(ステレオミニ ジャック)1個 規定期出力レベル 250mV、 47k _W 負荷時 負荷インピーダンス47k _W 以上 OPTICAL DIGITAL OUT (CD)(光角型出力コネク ター)1 個

実用最大出力 10W + 10W (EIAJ/4W)

電池持続時間

使用乾電池	ソニーニュースーパー ソニーアルカリ	
測定条件	R20P	LR20
テープ再生時**	約1時間	約2.5時間 (EIAJ)

FM録音時	約3.5時間	約10時間 (EIAJ)
-------	--------	-----------------

CD再生時**	約1時間	約2時間 (EIAJ)
---------	------	----------------

* EIAJ(日本電気機械工業会)規格による測定値で
す。

** 音量8分目程度

電源 本体用：
家庭用電源(AC100V,
50/60Hz)

単1形乾電池8個使用
(DC 12V)

メモリー用：
単3形乾電池4個使用
(DC6V)

リモコン用：
単3形乾電池2個使用
(DC3V)

消費電力 40W

最大外形寸法 約482.238.125 mm
(幅・高さ・奥行き)
(最大突起部含む)(EIAJ*)

質量 本体 約4.3kg

ご使用時 約5.2kg(乾電
池、CD、テープ含む)

電源コード(1)

MDコントロール用接続コー
ド(1)

リモコン(1)

リモコン用単3形乾電池(2)
取扱説明書(1)

ソニーご相談窓口のご案内(1)
保証書(1)

用語集

別売りアクセサリー

ステレオヘッドホン MDR-CD370

MDR-CD470

ヘッド消磁器 HE-6C

クリーニングキット KK-41

CDクリーニングキット

CDM-3K

デジタル接続ケーブル

(角型光ケーブル↔光ミニプラグ)

POC-5AB

オーディオ接続コード(ポータブルMD用)

RK-G136

オーディオ接続コード(テレビ、ビデオ用)

RK-G129

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

シャッフル演奏

シャッフルとは「まんべんなく混ぜる」とか、「トランプを切る」の意味。シャッフル演奏では、CDに収録されている曲をランダム(無作為)に並べ換えて演奏する。

テープ自動検出機能(ATS)

Automatic Tape Selector(オートマチック・テープ・セレクター)の略。テープを入れると検出機能が働いて、テープタイプの特性に最適な状態に調整する。本機で検出されるテープタイプは、TYPEI(ノーマル) II(ハイポジション) IV(メタル)(録音はTYPEI(ノーマル)のみ)。

TOC

Table Of Contents(テーブル・オブ・コンテンツ)の略。音声以外の情報を記録する、CD上の領域。そのCDの総曲数や時間などを記録している。CDが本だとすると、索引や目次にあたる。

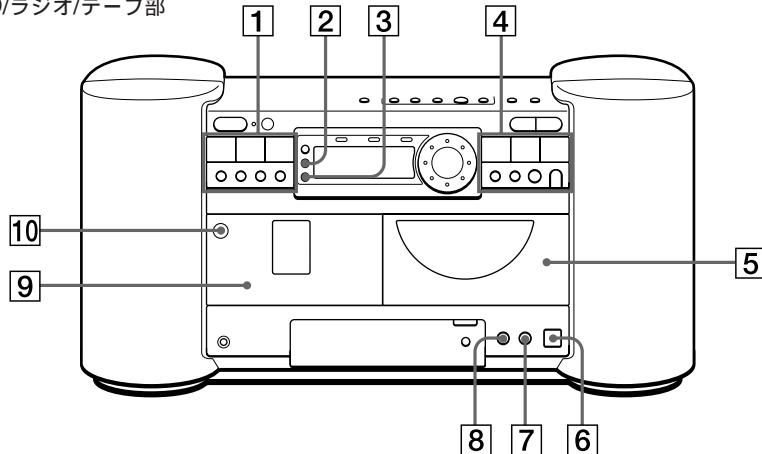
CDを入れると本機はこのTOCを読み込み、それにより、前の曲や次の曲にすぐ送ったり編集録音が簡単にできる。

各部のなまえ

()内のページに詳しい説明があります。

本体前面 :

CD/MG/ラジオ/テープ部



本体前面 : CD/MG/ラジオ/テープ部

① TAPE CONTROLボタン

■(停止)(13)

◀▶(再生)(12、13)

◀◀▶▶(早送り / 早戻し・AMS(選曲))

(13、26)

●/■(録音/録音一時停止)(15)

ダビング スタート テープ DUB START CD TAPEボタン

(15、28)

② DIR MODE(テープ走行モード)ボタン

(13)

③ COUNTER RESETボタン

リセット ラジオ コントロール RADI0/CD/MG CONTROLボタン

RADIO: BAND (10)

CD: ▶(演奏)(8)

■(停止)(9)

■(一時停止)(9)

△OPEN/CLOSE (8)

共通: TUNING/SEARCH ◀◀/-、

+/▶▶ (10)

⑤ CDトレイ (10)

⑥ MD (LINE) ボタン (42、45)

⑦ CONTROL MD CDボタン (43)

⑧ DUB START CD MDボタン (44)

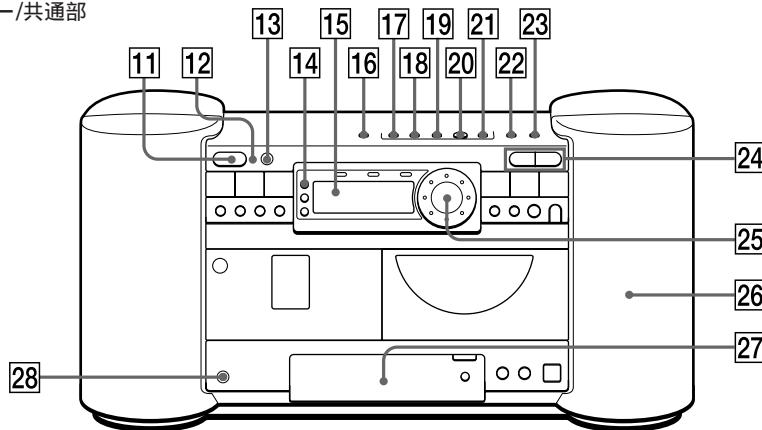
⑨ カセットぶた (12)

ブジョウ オープン クローズ

⑩ PUSH OPEN/CLOSE(カセット取り出し)ボタン (12)

本体前面 :

タイマー/共通部



本体前面 : タイマー/共通部

- 11** POWER(電源)ボタン (9)
パワーボタン
オペレーション バッテリーバッテリーランプ
- 12** OPR/BATT(電源/電池)ランプ
- 13** リモコン受光部
ディスプレイ
- 14** DISPLAYボタン (16、24、43)
- 15** 表示窓 (8、16)
スタンバイ
- 16** STANDBYボタン (35、38)
クロック
- 17** CLOCKボタン (33)
タイマー シリーブ
- 18** TIMER/SLEEPボタン (34、36、37)
メニュー
- 19** MENUボタン (11、18、21、23、27)
エンター
- 20** ENTERボタン (11、18、21、23、27)
キャンセル
- 21** CANCELボタン (22、24、30、35)
サンド
- 22** SOUNDボタン (47)
メガ ベース
- 23** MEGA BASSボタン (47)
ボリューム
- 24** VOLUME(音量)ボタン (9)

25 ジョグダイヤル

CD: AMS(選曲) 演奏モードの選択、プログラム演奏・EDIT(編集時)の選曲 (9、18、21、27)

ラジオ: プリセット選局 (23、25)
時計・タイマー:

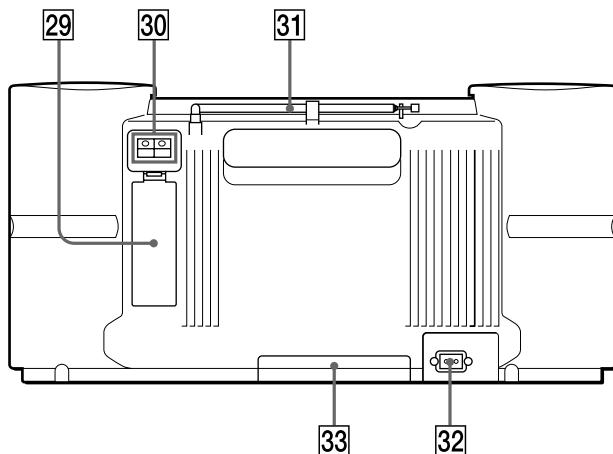
時刻設定、音源・音量の設定 (33~36)

26 スピーカー**27** 入/出力部

MD CONTROL端子 (42)
DC OUT (6 V 800mA MAX) 端子 (42)
LINE IN (アナログ入力)端子 (45)
LINE OUT (アナログ出力)端子 (45)
OPTICAL DIGITAL OUT (CD) 端子 (44、46)
ホーンズ

28 PHONESジャック(ステレオミニジャック)

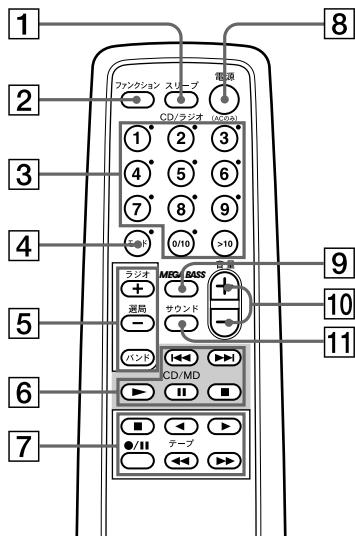
本体背面



本体背面

- 29 メモリー用乾電池収納部 (39)
- 30 FM EXT ANT(FM外部アンテナ)端子
(41)
エフエム エクステンデッドアンテナ
- 31 FM/TV(1-3CH)用ロッドアンテナ (11)
エフエム/ティービー
- 32 AC IN～ジャック (39)
- 33 本体用乾電池収納部 (40)

リモコン



リモコン

- 1**: スリープボタン (36)
- 2**: ファンクションボタン
ボタンを押すごとに、CD TAPE
RADIO LINE CD...と切り換わり
ます。
- 3**: 数字ボタン (17, 23)
- 4**: モードボタン (11, 15, 18)
- 5**: ラジオ操作ボタン
選局 + / - (10)
バンド (10)
- 6**: CD/MD操作ボタン
◀◀/▶▶(AMS(選曲)/サーチ)
(9, 17, 43)
▶(演奏) (8, 43)
■(一時停止) (9, 43)
■(停止) (9, 43)

- 7**: テープ操作ボタン
■(停止) (13)
◀◀/▶▶(再生) (12, 13)
●/■(録音/録音一時停止) (15)
◀◀/▶▶(早送り/巻戻し) (13, 26)
- 8**: 電源ボタン (ACのみ) (9)
- 9**: MEGA BASSボタン (47)
- 10**: 音量 + / - ボタン (9)
- 11**: サウンドボタン (47)

索引

五十音順

ア行

- 頭出し
CD 9、17
テープ 26
オートプリセット 23
お手入れ 52

力行

- 乾電池
本体用 40
メモリー用 39
リモコン用 40
繰り返し聞く 18

サ行

- サーチ 17
再生する
CD 8
テープ 12
サウンド 47
接続
アンテナ 41
電源コード 39
シャッフル演奏 20、55
重低音 47
選曲
CD 17

タ、ナ行

- ダイレクト選曲 17
タイマー
スリープ 36
目覚まし 34
留守録 37
テープ 12、26、37
テープ自動検出機能 48、55
調節する
音質 47
音量 9、11、13
低音 47
電源
家庭用コンセント 39
乾電池 39、40
時計を合わせる 33

ハ行、マ行、ヤ行

- 反転モード 13、15
ヘッドの消磁 52
表示窓 16
光デジタル出力 44、46
プログラム演奏 21
放送局を記憶させる 23
編集録音 27

ラ、ワ行

- ラジオ 10、23
リピート演奏 18
録音
CD 14
テープ 14
ラジオ 14、37
誤消去防止 48
編集録音 27

アルファベット順

- ATS 48、55
TOC 9、55

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111